

高校総体 県予選

田工(男)、熊野(女)が近畿へ

バレーボール

県高校総体バレーボール競技がこのほど、田辺市やその周辺町であった。男子で田辺工業が3位、女子で熊野が4位に入り、近畿大会に出場する。

県大会はシード校以外で予選グループ戦をし、勝ち上がった学校とシード校で決勝トーナメントをした。

男子は17校で決勝トーナメントをした。予選を勝ち上がった田辺工業は初戦となる2回戦で笠田にセットカウント2-0、3回戦は和歌山北に2-0で準決勝に進出。準決勝では開智に0-2で敗れたが、3位決定戦で日高に2-1で勝った。

女子は23校で決勝トーナメントをした。シード校の熊野は初戦の2回戦で笠田に2-0、3回戦で紀央館に2-0で勝ち上がったが、準決勝では和歌山信愛に0-2で敗れた。3位決定戦で和歌山商業に0-2で敗れ、4位だった。

男女のベスト4は7月21日から大阪府である近畿大会に出場する。男女とも開智が優勝し、男子は7月26日から、女子は8月1日から三重県であるインターハイに出場する。

17年ぶりの近畿大会出場を決めた田辺工業男子の寺本憲斗主将(3年)は「県ではベストの結果を残せた。近畿でも緊張せずに全力で挑む。あいさつや礼儀にも気を配り、フェアプレーを心掛けたい」と意気込んでいる。

昨年にも引き続き近畿大会に出場

する熊野女子の川畑瑠倫主将(3年)は「3位決定戦で負けたのは悔しい。近畿は万全の状態で臨み、練習したことを出し切って悔いのないプレーをしたい」と話している。



3位の田辺工業男子



4位の熊野女子